



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東
コード番号 5195 URL <https://www.bandogrp.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）植野 富夫
問合せ先責任者 （役職名）執行役員財務部長 （氏名）林 一志 TEL 078-304-2516
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前 中間利益		親会社の所有者 に帰属する 中間利益		中間 包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	59,094	1.7	4,463	8.7	6,569	30.1	6,591	45.7	4,819	46.2	6,507	106.9
2025年3月期中間期	58,098	7.7	4,106	9.3	5,048	11.8	4,525	△16.3	3,297	△10.2	3,144	△57.5

（注）コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	115.97	—
2025年3月期中間期	77.23	—

（2）連結財政状態

	総資産	資本合計	親会社の所有者 に帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	119,896	86,134	85,895	71.6
2025年3月期	120,693	82,501	82,131	68.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	38.00	—	38.00	76.00
2026年3月期	—	40.00			
2026年3月期（予想）			—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	1.2	8,200	5.9	10,500	201.7	7,400	394.5	178.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	44,213,536株	2025年3月期	44,213,536株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	3,045,683株	2025年3月期	2,410,402株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	41,556,033株	2025年3月期中間期	42,697,892株
-------------	-------------	-------------	-------------

（注）当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士または監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年11月20日（木）に機関投資家およびアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
(3) 要約中間連結持分変動計算書	8
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

	前中間 連結会計期間 (百万円)	当中間 連結会計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上収益	58,098	59,094	995	1.7
自動車部品事業	29,257	29,481	223	0.8
産業資材事業	19,267	19,731	463	2.4
高機能エラストマー製品事業	7,070	7,118	48	0.7
その他	2,917	3,151	233	8.0
調整額	△414	△389	25	—
コア営業利益（セグメント利益）（△は損失）	4,106	4,463	356	8.7
自動車部品事業	2,470	2,432	△38	△1.6
産業資材事業	1,348	1,672	323	24.0
高機能エラストマー製品事業	△11	140	152	—
その他	164	81	△82	△50.1
調整額	134	136	1	1.1
営業利益	5,048	6,569	1,521	30.1
税引前中間利益	4,525	6,591	2,066	45.7
親会社の所有者に帰属する中間利益	3,297	4,819	1,521	46.2

（注）コア営業利益（△は損失）は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

当中間連結会計期間は、売上収益は59,094百万円（前年同期比1.7%増）、コア営業利益は4,463百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は6,569百万円（前年同期比30.1%増）、税引前中間利益は6,591百万円（前年同期比45.7%増）、親会社の所有者に帰属する中間利益は4,819百万円（前年同期比46.2%増）となりました。

《セグメント別の状況》

事業（セグメント）別の状況は、次のとおりであります。

[自動車部品事業]

国内においては、自動車生産台数が減少いたしましたでしたが、当社製品採用車種の増加により、補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）の販売が増加いたしました。海外においては、欧米では補修市場向け製品の販売が増加いたしました。中国では二輪車メーカーの生産が堅調に推移し、スクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。アジアでは補修市場向けスクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしましたでしたが、補機駆動用伝動システム製品（オートテンショナなど）の販売が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は29,481百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は製品構成の変化などにより2,432百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

〔産業資材事業〕

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、産業機械用伝動ベルトの販売が前年並みに推移いたしました。海外においては、欧米では産業機械用伝動ベルトの販売が増加し、中国では農業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。アジアでは、農業機械用伝動ベルトの販売が減少いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内においてコンベヤベルトおよび樹脂コンベヤベルト（サンライン®ベルト）の販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は19,731百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は1,672百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

〔高機能エラストマー製品事業〕

機能フィルム製品につきましては、装飾表示用フィルムの販売が増加いたしました。

精密機能部品につきましては、高機能ローラの販売が増加いたしました。精密ベルトおよびブレードなどの販売が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は7,118百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は140百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

〔その他事業〕

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを行っており、売上収益は3,151百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は81百万円（前年同期比50.1%減）となりました。

上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ797百万円減少し、119,896百万円となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権が増加した一方で、現金及び現金同等物、未収法人所得税および持分法で会計処理されている投資が減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,430百万円減少し、33,761百万円となりました。これは主に、借入金が増加したことによるものです。

資本は、前連結会計年度末に比べ3,633百万円増加し、86,134百万円となりました。これは主に、自己株式の取得を実施した一方で、利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の68.0%から71.6%となりました。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べ1,342百万円減少し、16,373百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は、以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ2,734百万円収入が増加し、8,345百万円の収入超過となりました。これは主に、税引前中間利益に非資金損益項目等の調整を加減した営業取引による収入が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ1,391百万円支出が減少し、1,175百万円の支出超過となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が定期預金の預入による支出を上回ったことに加え、資本性金融商品の売却による収入が増加したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ4,156百万円支出が増加し、8,618百万円の支出超過となりました。これは主に、有利子負債の削減額が増加したことによるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績と今後の見通しを勘案した結果、2025年5月15日付で公表した2026年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2025年11月7日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

（1）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,715	16,373
営業債権及びその他の債権	22,978	24,068
棚卸資産	19,530	19,345
未収法人所得税	380	76
その他の金融資産	1,530	652
その他の流動資産	1,259	1,371
流動資産合計	63,396	61,888
非流動資産		
有形固定資産	30,532	30,607
のれん	1,175	1,179
無形資産	2,748	2,592
持分法で会計処理されている投資	11,590	11,315
その他の金融資産	10,318	11,385
繰延税金資産	647	654
その他の非流動資産	283	272
非流動資産合計	57,297	58,007
資産合計	120,693	119,896

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	18,098	17,745
借入金	5,350	483
未払法人所得税	764	1,479
その他の金融負債	1,064	1,118
引当金	1	0
その他の流動負債	6,013	6,205
流動負債合計	31,292	27,033
非流動負債		
借入金	1,787	1,562
退職給付に係る負債	880	913
その他の金融負債	1,649	1,730
繰延税金負債	1,895	2,021
その他の非流動負債	686	500
非流動負債合計	6,899	6,728
負債合計	38,191	33,761
資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	2,921	2,939
利益剰余金	59,418	62,819
自己株式	△3,678	△4,845
その他の資本の構成要素	12,519	14,029
親会社の所有者に帰属する持分合計	82,131	85,895
非支配持分	369	239
資本合計	82,501	86,134
負債および資本合計	120,693	119,896

（2）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書
（要約中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上収益	58,098	59,094
売上原価	41,732	41,888
売上総利益	16,366	17,206
販売費及び一般管理費	12,259	12,742
その他の収益	402	1,693
その他の費用	260	232
持分法による投資利益	799	645
営業利益	5,048	6,569
金融収益	259	282
金融費用	781	260
税引前中間利益	4,525	6,591
法人所得税費用	1,201	1,758
中間利益	3,323	4,832
中間利益の帰属：		
親会社の所有者	3,297	4,819
非支配持分	26	13
中間利益	3,323	4,832
親会社の所有者に帰属する1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益（円）	77.23	115.97

（要約中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間利益	3,323	4,832
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	△220	980
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	△8	4
純損益に振り替えられることのない項目合計	△228	984
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△11	608
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	62	81
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	50	690
その他の包括利益合計	△178	1,674
中間包括利益	3,144	6,507
中間包括利益の帰属：		
親会社の所有者	3,134	6,500
非支配持分	10	7
中間包括利益	3,144	6,507

（3）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2024年4月1日 残高	10,951	2,936	61,039	△1,692	11,927	85,163	347	85,511
中間利益			3,297			3,297	26	3,323
その他の包括利益					△162	△162	△16	△178
中間包括利益合計	—	—	3,297	—	△162	3,134	10	3,144
剰余金の配当			△1,630			△1,630	△21	△1,651
自己株式の取得				△982		△982		△982
自己株式の処分		1		14		15		15
株式に基づく報酬取引		14				14		14
所有者との取引額等合計	—	16	△1,630	△967	—	△2,582	△21	△2,603
2024年9月30日 残高	10,951	2,952	62,706	△2,660	11,765	85,716	336	86,052

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2025年4月1日 残高	10,951	2,921	59,418	△3,678	12,519	82,131	369	82,501
中間利益			4,819			4,819	13	4,832
その他の包括利益					1,681	1,681	△6	1,674
中間包括利益合計	—	—	4,819	—	1,681	6,500	7	6,507
剰余金の配当			△1,588			△1,588	△137	△1,725
自己株式の取得				△1,181		△1,181		△1,181
自己株式の処分		2		15		17		17
株式に基づく報酬取引		14				14		14
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			170		△170	—		—
所有者との取引額等合計	—	17	△1,418	△1,166	△170	△2,737	△137	△2,874
2025年9月30日 残高	10,951	2,939	62,819	△4,845	14,029	85,895	239	86,134

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	4,525	6,591
減価償却費及び償却費	2,975	2,655
減損損失	53	64
受取利息及び受取配当金	△246	△270
支払利息	45	49
為替差損益(△は益)	439	61
持分法による投資損益(△は益)	△799	△645
固定資産除売却損益(△は益)	21	29
棚卸資産の増減額(△は増加)	610	407
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△346	△977
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,017	126
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	25	34
引当金の増減額(△は減少)	1	△0
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△248	131
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	△210	△188
その他	△167	103
小計	5,662	8,173
利息及び配当金の受取額	1,535	1,290
利息の支払額	△44	△50
法人所得税の支払額	△1,742	△1,406
法人所得税の還付額	199	338
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,610	8,345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,833	△627
定期預金の払戻による収入	1,739	1,520
有形固定資産の取得による支出	△2,392	△2,322
有形固定資産の売却による収入	6	13
無形資産の取得による支出	△107	△126
資本性金融商品の売却による収入	—	334
その他	20	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,567	△1,175

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金（3ヶ月以内）の純増減額（△は減少）	△400	△4,866
長期借入金の返済による支出	△825	△225
リース負債の返済による支出	△602	△619
自己株式の取得による支出	△982	△1,181
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,630	△1,588
非支配持分への配当金の支払額	△21	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,462	△8,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39	106
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,458	△1,342
現金及び現金同等物の期首残高	17,935	17,715
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,477	16,373

（5）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスを軸とした事業部制を採用しており、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内および海外における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループの事業は親会社の事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車部品事業」、「産業資材事業」および「高機能エラストマー製品事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントは、次の製造・販売を行っております。

セグメントの名称	主要な製品
自動車部品事業	自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など
産業資材事業	一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど
高機能エラストマー製品事業	クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど

（2）報告セグメントごとの売上収益、利益または損失の金額に関する情報

報告されている各事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と概ね同一であります。セグメント間の売上収益または振替高は市場実勢価格に基づいております。当社グループの報告セグメントごとの売上収益および利益または損失は、次のとおりであります。

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部品事業	産業資材事業	高機能エラストマー製品事業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	29,257	19,264	7,070	55,593	2,505	—	58,098
セグメント間の売上収益 または振替高	—	2	0	2	412	△414	—
計	29,257	19,267	7,070	55,595	2,917	△414	58,098
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損失)	2,470	1,348	△11	3,807	164	134	4,106
その他の収益	—	—	—	—	—	—	402
その他の費用	—	—	—	—	—	—	260
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	799
営業利益	—	—	—	—	—	—	5,048
金融収益	—	—	—	—	—	—	259
金融費用	—	—	—	—	—	—	781
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	4,525

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益（△は損失）の調整額134百万円には、セグメント間取引消去19百万円、全社費用115百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。
3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益（△は損失）はコア営業利益で表示しております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	29,481	19,731	7,115	56,328	2,765	—	59,094
セグメント間の売上収益 または振替高	—	—	3	3	385	△389	—
計	29,481	19,731	7,118	56,332	3,151	△389	59,094
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	2,432	1,672	140	4,244	81	136	4,463
その他の収益	—	—	—	—	—	—	1,693
その他の費用	—	—	—	—	—	—	232
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	645
営業利益	—	—	—	—	—	—	6,569
金融収益	—	—	—	—	—	—	282
金融費用	—	—	—	—	—	—	260
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	6,591

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額136百万円には、セグメント間取引消去18百万円、全社費用117百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。
3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益(△は損失)はコア営業利益で表示しております。